

平成16年度平常時立入調査の実施結果について

平成17年5月31日

茨城県生活環境部原子力安全対策課

1 調査目的

原子力施設における事故・故障発生の未然防止及び再発防止に資するとともに、調査結果を公表することにより、住民の原子力施設に対する理解の促進を図る。

また、各事業所における良好事例の摘出にも主眼を置いた調査とすることによって、他事業所における安全確保対策の参考に資する。

2 調査対象【別表-1】

原子力安全協定締結全20原子力事業所

3 調査期間

平成17年2月8日（火） ～ 平成17年3月4日（金）

4 調査員

県及び関係市町村（当該事業所と原子力安全協定を締結する市町村）の職員
また、原子力施設安全調査員も同行

5 調査項目

(1) 全事業所共通調査

① 「品質保証活動の実施状況」

- ・ 原子力発電所における自主検査不正問題等を契機として、一定規模以上の原子力施設において、保安に係る品質保証体制の整備が法令上義務づけられ、平成16年度から本格的に実施されている。
- ・ このため、原子力施設における品質保証活動の実施状況について確認することとし、今年度はまず、原子力施設における新たな品質保証体制の概要を把握することを目的として、以下の調査項目を設定した。
 - ア 品質保証基本計画、体制の整備状況
 - イ 品質保証活動の実施、評価及び改善状況
 - ウ 文書及び記録
 - エ 品質保証活動等の特徴

② 「不具合の未然防止活動状況（トラブル対策の実施状況（水平展開状況を含む））」

・ 継続的なトラブル対策の実施状況

これまでに発生した事故・故障を踏まえ、これまで継続的に実施されているトラブル対策の実施状況について調査を行った。

・ 他事業所におけるトラブル対策の水平展開方法・実績

不具合等の未然防止対策として、他事業所におけるトラブルについて、自事業所における発生の可能性等について吟味し、水平展開することは重要である。

このため、その実施要領の整備状況等を含め、水平展開の方法及び実績について調査を実施した。

③ 「放射性廃棄物の保管管理状況」

・ 立入調査当日、固体・液体廃棄物の保管施設を抜き打ちで指定し、当該施設における廃棄物の保管管理状況について現場で確認した。

・ 放射性廃棄物の保管管理状況については、平成15年度に引き続き調査を実施した。

④ 「施設の保安管理状況」

立入調査当日原子力施設を抜き打ちで指定し、当該施設の運転状況（保安に関する点検、工事作業も含む）、各種規定類の遵守状況等について現場で確認した。

(2) 施設の種類に応じた調査

原子力事業所における安全管理状況について、原子力施設の種類に応じ、当該施設に特有の安全対策に着目した調査項目（テーマ）を設定し調査を行った。

○ 今年度の調査項目

「新燃料及び使用済み燃料の保管管理状況」

原子炉以外における核燃料の保管管理状況の確認

※ 対象施設

- ・ 原子炉施設（東海第二，JRR-3，JRR-4，STACY，TRACY，NSRR，弥生，JMTR，常陽）

6 調査方法

(1) 書類調査（全調査項目共通（施設の保安管理状況調査を除く））

各調査項目について、あらかじめ事業者が作成した説明資料に基づきヒアリングを行い、証拠資料の確認を含む書類調査を実施した。

(2) 現場確認調査

① 放射性廃棄物の保管管理状況調査

ア 固体廃棄物

一時保管場所を除く固体廃棄物保管廃棄施設の中から、立入調査当日に抜き打ちで指定した施設について現場確認を実施した。

イ 液体廃棄物

液体廃棄物保管廃棄施設の中から、立入調査当日に抜き打ちで指定した施設についてを実施した。

② 施設の保安管理状況調査

立入調査当日に対象施設を抜き打ちで指定し、運転マニュアル等の整備状況や遵守状況について、現場確認を実施した。

(3) 施設の種類に応じた調査

5（2）に記載した原子力施設の「新燃料及び使用済み燃料の保管管理状況」について、以下の項目について調査を行った。

① 管理マニュアル等、必要ドキュメントの整備状況の確認

② その遵守状況の現場確認

7 調査結果

(1) 全事業所共通調査

① 「品質保証活動の実施状況」【別表－2】

一定以上の核燃料物質等を取扱う施設を有する事業所及びその他の事業所における品質保証活動の実施状況について、以下のとおり確認した。

ア 一定以上の核燃料物質等を取扱う施設*を有する事業所

- － 品質保証活動の実施に係る基本計画が策定されていること
- － 品質保証活動の実施に係る組織体制が整備されていること

- － 基本計画に基づき、保安活動に係る監査又は評価が計画的に実施されている、もしくは実施予定であること
- － 監査・評価の結果を踏まえた改善措置が行われていること
- － なお、今年度は、新たな品質保証体制の初年度に当たるため、品質保証計画の周知徹底に取り組んでいる例、更なる実効性の向上を図るため継続的な改善を実施している事業所等が見受けられた。

※ 原子炉等規制法上の原子炉，加工，再処理，廃棄，使用（施行令第16条の2該当）の許可を持つ施設。

施行令第16条の2に該当する施設とは、次のいずれかを使用する施設。

- ・ 1g以上の非密封のプルトニウムを含む物質
- ・ 450g以上の密封のプルトニウムを含む物質
- ・ 3.7テラベクレル以上の使用済燃料
- ・ 500g以上のウラン233を含む物質
- ・ 5%未満の濃縮ウランであって1,200g以上のウラン235を含む物質
- ・ 5%以上の濃縮ウランであって700g以上のウラン235を含む物質
- ・ 1t以上のウランを含む六フッ化ウラン
- ・ 3t以上のウラン（液体状のものに限る）を含む物質

イ その他の事業所

- － 法令上、品質保証活動の実施に係る要求がないため、保安に係る所内規定類を的確に運用することにより、原子力施設の安全確保を図っている。
- － なお、一部事業所においては、保安活動に品質保証の考え方を自主的に取り入れている事業所も見受けられた。

② 「不具合の未然防止活動状況（トラブル対策の実施状況（水平展開状況を含む）」【別表－3】

- ・ 過去のトラブル対策について、12事業所において305件の対策がとられてきており、そのうち125件が継続的に実施されていることを確認した。
また、その中で23件の対策について、これまでに変更がなされていたが、いずれも信頼性の向上を図ること等を目的として実施されていることを確認した。
- ・ 毎月1件の水平展開の検討を各グループ毎に実施している事業所があった。
- ・ 一部の事業所においては実施要領を定め、確実な水平展開を実施していた。

③ 「放射性廃棄物の保管管理状況」【別表－４】

ア 固体廃棄物

- ・ 固体廃棄物の保管廃棄施設（一時保管施設を除く。）は、１６事業所、計１０９施設に設置されている。
- ・ そのうち、２８施設について現場確認調査を実施した結果、適切に保管管理が行われていることを確認した。

イ 液体廃棄物

- ・ 液体廃棄物の保管廃棄施設は、９事業所、計１９施設に設置されている。
- ・ そのうち、５施設について現場確認調査を実施した結果、適切に保管管理が行われていることを確認した。

（参考）気体廃棄物

- ・ 気体廃棄物の保管廃棄施設（一時貯蔵タンク等を除く。）は無いが、参考として、研究用としてクリプトン－８５を一時保管している１施設について調査を実施した結果、適切に保管管理が行われていることを確認した。

④ 「施設の保安管理状況」【別表－５】

立入調査当日、抜き打ちで指定した施設について、運転マニュアル等の整備状況や遵守状況について現場確認を行った結果、いずれも適切に運転管理が行われていることを確認した。

(2) 施設の種別に応じた調査「新燃料及び使用済み燃料の保管管理状況」

立入調査当日、抜き打ちで指定した以下の施設について、保管管理状況について現場確認を行った結果、いずれも適切に保管管理が行われていることを確認した。

① 新燃料保管管理施設

原研東海；５施設，原研大洗；１施設，サイクル大洗；２施設，原電；２施設，東京大学；１施設

② 使用済み燃料保管管理施設

原研東海；７施設，原研大洗；２施設，サイクル大洗；２施設，原電；２施設

8 調査結果のまとめ

(1) 「品質保証活動の実施状況」について

- ・ 原子力施設の品質保証活動の実施が法令により義務づけられている施設については、組織体制、関係規定類が適切に整備されていることを確認した。
- ・ 品質保証活動の定着段階にある事業所も一部に見られるとともに、品質保証活動が不十分であった事例*も生じていることなどを踏まえ、今後とも新たな品質保証体制がより有効に機能するものとなるよう、引き続きの取組みがなされることが望まれる。
- ・ 原子力施設における品質保証活動については、県として今後とも引き続き立入調査等により確認していく。
- ・ 法令で整備が求められていないその他の施設においても、一部の事業者において、積極的に品質保証活動を実践している等、良好な例が認められた。
- ・ その他の事業者においても、日常の保安管理に、品質保証の考え方を積極的に取り入れていく取組みのなされることが望まれる。

※（参考） 高速実験炉「常陽」実験装置の不具合について

核燃料サイクル開発機構大洗工学センター（サイクル機構）の高速実験炉「常陽」実験装置に係る使用前検査において、検査を受検するための条件が正しく設定されたいなかったことが判明した。原因は、製作段階におけるサイクル機構の品質保証活動が不十分であったことにより、サイクル機構が意図した設計と製作された実験装置に齟齬が生じたものであった。

当該事例は、直ちに安全上の問題が生じるものではないが、サイクル機構は品質保証活動の実効性向上のため、以下の対策を図ることとした。

- ・ 所長の明確なリーダーシップの下、安全確保を最優先とした品質保証活動の確実な実施
- ・ 品質管理体系への要求事項を明確化し、要領等に反映
- ・ 改善後の要領等に基づく関係施設への水平展開及び関係者への教育
- ・ 水平展開結果に係る特別内部監査の実施
- ・ 品質保証活動に係る内部専門委員会への諮問事項の明確化
- ・ 従業者を対象とした研修、講習会の実施

(2) 「不具合の未然防止活動状況(トラブル対策の実施状況(水平展開状況を含む))」
について

- ・ 過去のトラブル対策は必要に応じて継続的に実施されていることを確認した。また、対策内容を変更している事例もあったが、いずれも信頼性の向上を図ること等を目的として実施されていることを確認した。
- ・ 原子力施設の保守管理にあたっては、施設設備の保守点検内容等に関して、全ての作業従事者がその意義や重要性を正しく理解していることが重要である。今回の調査結果等を参考として、保守点検内容等の意義や重要性に係る従業者への継続的な教育、周知が望まれる。

(3) 「放射性廃棄物の保管管理状況」について

- ・ 放射性廃棄物の保管管理状況については、いずれの施設においても適切に保管管理がなされていることを確認した。
- ・ 放射性廃棄物の保管管理状況の調査については、今後も継続的に実施していく予定である。

(4) 「施設の保安管理状況」について

- ・ 施設の保安管理状況については、毎年度抜き取りにより保安管理状況全般について調査を行っているものである。
- ・ 今年度調査を行った原子力施設について、適切な保安管理がなされていることを確認した。

(5) 「新燃料及び使用済み燃料の保管管理状況」について

- ・ 原子炉施設等における新燃料及び使用済み燃料の保管管理については、施設の安全確保上重要である。
- ・ 書類調査及び現場確認により、いずれの保管管理施設においても適切な保管管理がなされていることを確認した。

平成16年度平常時立入調査の結果、上記調査項目について、安全上支障のある事項は認められず、特段の指摘事項等はなかった。

各事業所においては、本調査結果に示した他事業所における良好事例等を参考とし、さらなる安全確保へ向けた取組みが望まれる。

【別表－１】

平成１６年度平常時立入調査実績

	事業所名	実施日時	調査者
1	三菱マテリアル	2/ 8 10:00～11:50	県, 那珂市
2	JCO	2/ 8 13:00～15:30	県, 東海村, 日立市, 常陸太田市, ひたちなか市, 那珂市
3	日本照射	2/ 9 10:00～11:50	県, 東海村
4	東京大学	2/ 9 13:00～14:50	県, 東海村, 日立市, 常陸太田市, ひたちなか市, 那珂市
5	核管センター	2/10 10:00～11:40	県, 東海村, 日立市, 常陸太田市, ひたちなか市, 那珂市
6	第一化学	2/14 9:55～12:00	県, 東海村
7	原燃工	2/14 13:00～15:10	県, 東海村, 日立市, 常陸太田市, ひたちなか市, 那珂市
8	日揮	2/15 10:00～11:40	県, 大洗町
9	サイクル大洗	2/15 13:00～15:30	県, 大洗町, 旭村, 水戸市, ひたちなか市, 茨城町,
10	住友金属	2/16 10:00～11:50	県, 東海村
11	放医研	2/16 13:00～15:10	県, ひたちなか市
12	東北大学	2/17 10:00～11:30	県, 大洗町
13	三菱原燃	2/17 13:00～15:15	県, 東海村, 那珂市, 日立市, 常陸太田市, 水戸市, 城里町
14	原研那珂	2/18 10:00～12:10	県, 東海村, 那珂市
15	NDC	2/18 13:00～15:30	県, 東海村, 日立市, 常陸太田市, ひたちなか市, 那珂市
16	原研東海	2/21 10:10～15:40	県, 東海村, 日立市, 常陸太田市, ひたちなか市, 那珂市
17	日本核燃	2/22 13:00～15:10	県, 大洗町, 水戸市, ひたちなか市, 茨城町, 旭村
18	原電	2/24 10:00～16:30	県, 東海村, 日立市, 常陸太田市, ひたちなか市, 那珂市
19	原研大洗	2/28 13:00～16:00	県, 大洗町, 水戸市, ひたちなか市, 茨城町, 旭村, 銚田町
20	サイクル東海	3/ 4 9:50～16:20	県, 東海村, ひたちなか市, 常陸太田市, 那珂市

品質保証活動の実施状況

No.	事業所	許可区分		基本計画の策定、組織及び職務			実施	評価	継続的改善	特徴
		主な許可区分	保安規定の有無	基本計画の策定の有無	基本計画	組織				
1	原研東海	原子炉核燃使用 廃棄物埋設	有	有	原子炉施設品質保証基本計画 使用施設等品質保証基本計画	所長が体制の構築、活動について責任を負う 品質保証責任者が業務を統括 品質保証統括部長は活動の実施及び継続的改善の責任を負う	品質保証計画に基づき実施	原子炉施設及び使用施設等品質保証活動監査規則に基づき実施予定（平成17年4月実施予定）	平成17年4月の内部監査を踏まえてマネジメントレビューを実施予定	16年度は品質保証マネジメントシステムの構築及び効果的な品質保証活動の実施が目標
2	原研大洗	原子炉核燃使用 廃棄物管理	有	有	原子炉施設品質保証計画 使用施設等品質保証計画 保安活動の品質保証計画（廃棄物管理施設）	所長は体制の構築、活動について責任を負う 品質保証責任者及び品質保証管理責任者が業務を総括、 品質保証統括部長及び部長（廃棄物管理施設）は活動の実施及び継続的改善の責任を負う	品質保証計画に基づき策定した要領書に基づき実施	原子炉施設及び使用施設等品質保証活動監査規則に基づき実施予定（平成17年4月実施予定） 廃棄物管理施設のみ実施（平成17年2月実施）	平成17年4月の内部監査を踏まえてマネジメントレビューを実施 廃棄物管理施設については平成17年3月に実施予定	16年度は品質保証マネジメントシステムの構築及び効果的な品質保証活動の実施が目標
3	原研那珂	R I 使用	無	無	無	使用施設等運転委員会等各種委員会により構成されている	重要項目は予防規定等に定める方法により所内審査を実施	安全に関する重要事項はその都度、一般事項については四半期に一度、本部安全管理室に報告し、評価を受けている	平成15年度より安全点検者による指導改善を実施	自主的に体制を維持している
4	サイクル東海	再処理核燃使用	有	有	再処理品質保証計画 使用施設品質保証計画	再処理品質保証計画書の責任者は理事長 使用施設品質保証計画書の責任者は所長 組織体制の構築、管理責任者の任命、内部監査組織の設置を実施	品質保証計画に基づき、保安に関する業務計画、実施、評価を実施	原子力安全監査を実施（平成16年12月実施）	内部監査、是正措置、予防措置及びマネジメントレビューを通じて品質保証計画の継続的改善を実施	〔ISO9001認証取得〕 （プルトニウム燃料センター、再処理センター等）
5	サイクル大洗	原子炉核燃使用	有	有	大洗工学センター品質保証計画書	大洗工学センター品質保証計画書の責任者は所長 組織体制の構築、管理責任者の任命、内部監査組織の設置を実施	品質保証計画に基づき、保安に関する業務計画、実施、評価を実施	品質保証計画に基づき、定期的に（年1回）内部監査を実施	内部監査、是正措置、予防措置及びマネジメントレビューを通じて品質保証計画の継続的改善を実施	原子力施設の他に、大型ナトリウム施設等のコールド施設も含めて活動している。

品質保証活動の実施状況

No.	事業所	許可区分		基本計画の策定、組織及び職務			実施	評価	継続的改善	特徴
		主な許可区分	保安規定の有無	基本計画の策定の有無	基本計画	組織				
6	原電	原子炉	有	有	JEAC4111-2003をベースに作成	社長が品質マネジメントシステムの構築及び実施並びにその有効性の継続的な改善を統括する	各種業務要領に基づき実施	業務プロセスレビュー、内部監査、マネジメントレビューを実施	品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善	品質マネジメントシステムのスパイラルアップを図ることが重要
7	三菱原燃	加工	有	有	保安品質保証計画書	社長並びに管理総括者の職務を明確化	保安品質保証標準書に基づき実施	内部保安監査を実施（平成16年9月～10月に実施）	マネージメントレビューを4回実施	各部門毎に保安品質目標を設定、その1例としてMNF-KY危険予知活動を実施中 [ISO9001認証取得]
8	原燃工	加工 核燃使用	有	有	品質保証計画書（保安マニュアル）	社長が品質マネジメントシステムの維持及び継続的な改善を推進する	保安マニュアル及び保安規定に基づき定めた基準に基づき標準書類を定め、活動を実施	不適合是正のための基準及び標準を整備、各部長が評価改善活動を実施。平成16年度は6件の不適合あり、処置はすべて完了	安全管理室長が保安内部監査を実施（平成16年度は6、8～9、12月に実施）。その状況はマネジメントレビュー会議（保安委員会）に報告し、必要に応じフォローアップしている。	トップマネジメント、PDCAサイクルの確立、力量管理、内部監査の4点 [ISO9001認証取得]
9	東京大学	原子炉 核燃使用	有	有	品質保証計画指針	施設長が、品質マネジメントシステムを策定、維持する。	品質保証計画指針に基づきPDCA活動を実施	内部監査（年度内に実施予定）、不適合管理、是正・予防措置を実施	内部監査を年度内に予定しているため、改善事例はまだない	大学における原子力研究・教育とそれに伴う安全管理活動に対するコンプライアンスとアカウンタビリティの確保として実施
10	核管センター	核燃使用	有	有	品質保証計画書	社長が品質マネジメントシステムの確立、維持及び継続的な改善を実施する	必要な文書及び記録の明確化、教育の実施、保安活動の監視・測定等を実施	内部監査実施要領書に基づき実施（平成17年3月予定）	内部監査、是正措置、予防措置、所長によるマネジメントレビューを実施	保安のための品質保証活動以外に核燃料物質試料の分析に係る品質管理についても、国際レベルの分析精度維持のため実施している

品質保証活動の実施状況

No.	事業所	許可区分		基本計画の策定、組織及び職務			実施	評価	継続的改善	特徴
		主な許可区分	保安規定の有無	基本計画の策定の有無	基本計画	組織				
11	日本核燃	核燃使用	有	有	保安活動に関わる品質保証計画書	社長に選任された品質保証責任者が品質保証活動を総括 品質保証責任者、保安管理組織、内部監査組織により「品質保証に係る組織」を制定	保安品質マネジメントシステムを構築、それに添って活動を実施	内部監査実施計画書に基づき実施 (平成17年3月予定)	マネージメントレビュー実施要領に基づき実施、幹部で構成する品質会議を開催し、品質保証に係る事項を審議	品質保証活動の有機的連携を図ることを目的として、デザインレビュー実施要領を策定し、実施、また品質会議を開催
12	JCO	核燃使用	無	無	保安規則	所長が保安を統括、総務管理者、核燃料取扱責任者	保安規則に基づき実施	活動の実施状況について安全主管者が承認後、各種委員会に報告 毎月役員保安巡視を実施、親会社による安全監査を定期的に実施	保安に関する指摘事項については、対応期限を設定し、処置状況を次回の巡視、監査時にレビューを実施している。	自主的に保安規則を定め、保安活動を展開
13	NDC	核燃使用	有	有	社標準・保安品質保証計画書	社長が保安品質保証の体制の構築、活動の統括、保安品質保証責任者を任命	保安品質保証連絡会議を実施	年度初めに保安品質保証活動計画の策定、次年度始めの保安品質保証委員会において活動を評価、反映	内部保安品質保証監査を実施（平成16年12月実施）	16年度は保安品質保証活動の定着のため品質保証計画書の内容の周知徹底など実施中
14	三菱マテリアル	核燃使用	無	無	予防規定、保安規則	安全管理グループが運営管理	予防規定、保安規則及び放射線安全作業要領に基づき実施	年1回の頻度で社内品質監査チームによる社内品質活動の評価を実施	品質ヒアリングを実施（ISO9001認証取得後は品質監査） (平成16年3月10日実施)	ISO9001認証取得を目指している
15	住友金属鉱山	核燃使用	無	無	自主的に保安管理規定を制定	センター長が保安管理規定を定め、保安管理組織により保安管理活動を行う 保安活動全般は年度当初に役割分担を定める	自主的に制定した保安管理規定により各種活動を実施	新規の作業は、安全管理計画書を作成し、安全専門委員会にて審議 安全文化醸成の進捗度を3ヶ月毎に評価し掲示	安全衛生活動 リスクマネジメント 推進部により特別監査を実施（平成16年9月）	保安活動全般として、安全文化醸成、安全衛生、環境管理、リスク管理、規定類に定める教育訓練の計画に基づき活動を実施

品質保証活動の実施状況

No.	事業所	許可区分		基本計画の策定、組織及び職務			実施	評価	継続的改善	特徴
		主な許可区分	保安規定の有無	基本計画の策定の有無	基本計画	組織				
16	東北大	核燃使用	無	無	予防規定、保安規則、作業標準書等	原子科学専門委員会、金属材料研究所長、センター長（安全管理総括責任者）	放射性同位元素取扱計画書、核燃料物質取扱計画書により実験内容の審議	予防規定に基づく放射線障害予防委員会を設置	規定類の見直し、変更を随時実施	放射線障害予防委員会を含めた定例会に全員参加し、情報共有、意思疎通や相互調整を図り、職員数が少ない点を補っている
17	日揮	R I 使用	無	無	予防規定、細則、放射線管理マニュアル	放射線管理チームによる放射線管理放射線安全委員会（所長等）を設置し、安全対策等を確認	各種活動の予防規定等の順守状況を確認	点検作業記録をチェック、新規実験研究については放射線安全委員会にて審議	保安活動に問題が生じた場合には放射線安全委員会にて改善策等について検討	特になし
18	第一化学	R I 使用	無	無	医薬品の非臨床試験実施基準（GLP）に基づく基本計画	運営管理者、信頼性保証部門責任者	標準作業手順書（SOP）に従い実施	信頼性保証部門責任者が内部監査を実施 法規室による上記内部監査も対象とした内部監査を実施	法規室の内部監査結果は役員を長とする品質保証対策委員会に報告	GLP 活動
19	放医研	核燃使用	無	無	予防規定、消防計画	所長、放射線取扱主任者、放射線安全管理者	予防規定、消防計画を周知徹底	理事長による安全総点検を実施、放射線安全会議を四半期毎に実施	ラインから独立した監査室が主体となり内部監査を取りまとめ、理事会に報告、審議	放射線安全会議で作業計画が了承するまでは、作業が行えない仕組みとなっている
20	日本照射	R I 使用	無	無	予防規定、環境マニュアル	所長、放射線取扱主任者、施設管理責任者、放射線管理責任者	予防規定等により各種活動を実施	記録の回覧、社内会議において評価	内部監査により貯蔵プール水の継続的管理について確認	予防規定、環境マニュアル、設備及び作業環境管理要領に基づく活動を実施

不具合の未然防止活動状況

	事業所	トラブル対策の実施状況（事業所内）	トラブル対策の変更状況	他事業所におけるトラブル対策の自事業所への水平展開状況			
				展開実績	判断者	周知方法	要項等
1	原研東海	協定対象トラブルは31件 その内継続して実施している対策は24件	変更した対策はない	10件（平成14年度からの実績）	安全管理室長	調査，点検等依頼文書を関係部署に配布	無
2	原研大洗	協定対象トラブルは45件 その内継続して実施している対策は8件	変更した対策はない	19件（平成14年度からの実績）	安全管理室長	保安管理室長又は保安管理課長から関係部署に關係書類を添えて依頼	無
3	原研那珂	協定対象トラブルは2件 2件とも継続して実施している対策有り	変更した対策はない	4件の実施例を確認	安全管理室，安全管理課	安全管理課から周知，又は部安全衛生会議において周知	無
4	サイクル東海	協定対象トラブルは129件 その内継続して実施している対策は32件	変更した対策は13件 耐食性の向上によるもの1件 使用廃止等12件	8件（H15年1月からの実績）	保安管理部又は安全衛生主任者会議，電気保安委員会等で検討を実施，結果は保安管理部が取りまとめ，本社に報告	実施要領に基づき周知	東海事業所水平展開実施要領
5	サイクル大洗	協定対象トラブルは27件 その内継続して実施している対策は19件	変更した対策は2件 共通安全作業要領集の変更によるもの1件 構造の変更によるもの1件	42件（平成10年度からの実績）	安全衛生主任者会議又は品質保証推進委員会で検討を実施，水平展開結果については安全管理部が取りまとめ，所長に報告	実施要領に基づき周知	大洗工学センター水平展開実施要領
6	原電	協定対象トラブルは60件 その内継続して実施している対策は38件	変更した対策は7件 設備更新によるもの5件 材料，構造の変更によるもの2件	2件の実施例を確認	所内検討会において実施 所内検討会は技術系副所長，各主任技術者，品質保証GM及び各部門長により構成	所内検討会の結果に従い，設備への反映，運転手順の見直し等計画的に実施	無
7	三菱原燃	協定対象トラブルは3件 その内継続して実施している対策はない	変更した対策はない	無（緊急点検を実施した例が1件）	—	緊急自主点検プロジェクトを発足させ実施。	無
8	原燃工	協定対象トラブルは2件 2件とも対策をマニュアル等に定めている	変更した対策は1件 チェック機能の充実のためのマニュアルの改訂によるもの	—	担当部長	水平展開の結果を核燃料安全委員会に報告	無
9	東京大学	協定対象トラブルは3件 その内継続して実施している対策はない	変更した対策はない	—	—	研究会を開催し，情報交換を実施（年1回，これまで20回開催）	無
10	核管センター	協定対象トラブル無し	—	5件の実施例を確認	所長，副所長，核燃料取扱主務者，又は課長	課内作業ミーティング等	無

不具合の未然防止活動状況

	事業所	トラブル対策の実施状況（事業所内）	トラブル対策の変更状況	他事業所におけるトラブル対策の自事業所への水平展開状況			
				展開実績	判断者	周知方法	要項等
11	日本核燃	協定対象トラブルは1件	変更した対策はない	4件の実施例を確認（平成12年からの実績）	部長会議，放射線安全委員会等にて審議	全従業員への周知が必要な場合には，特別教育，定期の保安教育を実施	無
12	JCO	協定対象トラブルは1件	変更した対策はない	1件の実施例を確認		要領に基づき実施	類似災害防止活動要領
13	NDC	協定対象トラブル無し	—	5件（16年度1月末現在実施）4件の実施例を確認	安全管理室	要領に基づき様式作成，処理部門へ送付，依頼	原子力研究施設等に係る不適合情報の水平展開実施要領
14	三菱マテリアル	協定対象トラブル無し	—	—	—	研究所会議	無
15	住友金属鉱山	協定対象トラブル無し	—	毎月1件グループ毎に危険予知を実施	本社の環境安全部，安全主管者，安全衛生推進者	毎月1件グループ毎に危険予知を実施，安全衛生委員会にて報告	無
16	東北大	協定対象トラブル無し	—	4件の実施例を確認	定例会（放射線障害予防委員会を含む）	定例会	無
17	日揮	協定対象トラブル無し	—	1件の実施例を確認	—	全体会議	無
18	第一化学	協定対象トラブル無し	—	3件の実施例を確認	安全衛生委員会	月初めの朝礼	無
19	放医研	協定対象トラブルは1件	変更した対策はない	—	—	回覧，教育訓練	無
20	日本照射	協定対象トラブル無し	—	4件の実施例を確認	—	回覧，朝のミーティング	—

放射性廃棄物保管管理状況（固体）

No.	事業所	保管廃棄施設の名称		供用開始	可燃・不燃の別	主な収納物	保管管理状況	点検方法	保管量（本）	保管能力（本）	立入調査実施	備考		
1	原研東海	第1保管廃棄施設	保管廃棄施設 I	保管廃棄施設 L	S40	不燃	圧縮体, セメント固化体, 直接保管体等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物をドラム缶等の容器に封入, 容器への封入が困難な廃棄物等は汚染拡大防止措置を施す ・上記の廃棄物をピット式の保管廃棄施設に保管し, 施設上部を鋼製蓋で覆う ・施設の周囲をフェンスで囲い出入口を施錠管理 	約74,200	約76,350	○	保管能力が逼迫してきているが, 今後減容処理棟における処理を開始することにより解消する見込み。		
			保管廃棄施設 II	保管廃棄施設 M-1	S37	不燃								
				保管廃棄施設 M-2										
		第2保管廃棄施設	保管廃棄施設 N L		S61	不燃	直接保管体	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物をドラム缶等の容器に封入, 容器への封入が困難な廃棄物等は汚染拡大防止措置を施す (JRR-3の解体に伴って発生したコンクリート廃棄体は直接保管) ・上記の廃棄物をピット式の保管廃棄施設に保管し, 施設上部を鋼製蓋で覆う ・施設の周囲をフェンスで囲い出入口を施錠管理 					施設外観の目視確認 (1回/週) 保管廃棄体の保管状況の目視確認 (1回/年)	
			廃棄物保管棟 I		S55	不燃	圧縮体, セメント固化体, アスファルト固化体, 直接保管体等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物をドラム缶等の容器に封入, 倉庫式の保管廃棄施設に保管 ・建家の出入口を施錠管理 ・建家の周囲をフェンスで囲い出入口を施錠管理 					約17,978	約18,000
			廃棄物保管棟 II		H2	不燃		約22,998					約23,000	
		第1保管廃棄施設	解体分別保管棟・保管室		H10	不燃		<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物をドラム缶等の容器に封入, 倉庫式の保管廃棄施設に保管 ・建家の出入口を施錠管理 					約17,578	約22,000
2	サイクル東海	再処理センター	第一低放射性固体廃棄物貯蔵場		S60.7	不燃・可燃	金属, コンクリート等, 紙, 布等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設出入口は施錠管理 ・200ℓドラム缶4本を1パレット3段積み ・表面線量率2mSv/h以下のドラム缶を保管 ・表面線量率500μSv/h以下のドラム缶を保管 ・表面線量率B. Gレベルのドラム缶を保管 	目視によるはい付け状況の点検 (1回/月, 1回/年)	31,108	34,000	○	今後5年以内に保管能力に達する予定はない。	
			第二低放射性固体廃棄物貯蔵場											S54.6
			アスファルト固化体貯蔵施設貯蔵セル (4セル) (R051, R052, R151, R152)		S57.10	不燃	アスファルト固化体, プラスチック固化体	<ul style="list-style-type: none"> ・200ℓドラム缶に保管 ・200ℓドラム缶4本をフレームに収納し, 6段積みで保管 ・貯蔵セル扉は施錠 	セル内監視カメラによるドラム缶の保管状態の確認 (1回/日) セル内監視カメラの作動状況の確認 (1回/日) セル内監視カメラによる貯蔵セルの健全性確認 (1セル/年; 4年/1巡) 目視による建家の健全性確認 (1回/年)	14,530	15,400			
			第二アスファルト固化体貯蔵施設	貯蔵セル (2セル) (R251, R151)	H1.1	不燃	アスファルト固化体, プラスチック固化体	<ul style="list-style-type: none"> ・200ℓドラム缶に保管 ・200ℓドラム缶4本をパレットに乗せ, 3段積みで保管 ・貯蔵セル扉は施錠 	セル内監視カメラによるドラム缶の保管状態の確認 (1回/日) セル内監視カメラの作動状況の確認 (1回/日)	17,197	20,160			
				貯蔵セル (1セル) (R051)	H10.7	可燃	ウェス, 酢ビ, 紙類, ゴム類			セル内監視カメラによる貯蔵セルの健全性確認 (1セル/年; 3年/1巡) 目視による建家の健全性確認 (1回/年)	65	10,080		
			高放射性固体廃棄物貯蔵庫	ハル貯蔵庫 (R031, R032) [湿式セル]	S50.8	不燃	ハル, フィルタ類	<ul style="list-style-type: none"> ・施設出入口は施錠管理 ・ステンレス製約350ℓ専用容器で保管 (フィルタは直接保管) ・セル上部投入口から投棄 ・セル内ライニング設置, 水張り ・現状, 新たな廃棄物の受入れなし 	目視による建家の健全性確認 (1回/月, 1回/年) 計器による冷却水の水位, セル内温度の確認 (1回/月) 地下浸透水の検査 (1回/月) 放射線管理状況の確認 (1回/月) ITVによるセル内 (R030~R032) 点検 (1セル; 1回/3年)	2,884	4,000			
				予備貯蔵庫 (R030) [乾式セル]	S50.8	可燃	廃ジャグ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリエチレン製約20ℓ専用容器で保管 ・セル上部投入口から投棄 ・セル内ライニング設置 		1,004	2,000			
				汚染機器類貯蔵庫 (R040~R046) [乾式セル]	S50.8		廃ジャグ	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリエチレン製約20ℓ専用容器で保管 ・セル上部投入口から投棄 ・現状, 新たな廃棄物の受入れなし 		240	400			
			第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設	湿式貯蔵セル (R003, R004)	H2.5	不燃	ハル, フィルタ類	<ul style="list-style-type: none"> ・施設出入口は施錠管理 ・ステンレス製約350ℓ専用容器で保管 (フィルタは長ドラム) ・移送容器にてセル上部から貯蔵 ・セル内ライニング設置, 水張り 	目視による建家の健全性確認 (1回/月, 1回/年) 計器による冷却水の水位, 温度の確認 (1回/月) 地下浸透水の検査 (1回/月) 放射線管理状況の確認 (1回/月) ITVIによるセル内 (R002~R004) 点検 (1セル; 1回/3年)	1,363	2,940			
				乾式貯蔵セル (R002)	H2.5	不燃	雑固体, フィルタ類			552	980			
				ガラス固化技術開発施設 (TVF) 保管セル (R002)	H7.2	不燃	ガラス固化体	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス製専用容器で保管 (円筒タテ型, 430mmφ/1040mmH, 重量約380kg) ・保管セル, 保管ピット及びその換気系からなる保管設備に収納 ・強制空冷により除熱を行いながら保管 	冷却空気中の放射性濃度の確認 (1回/日) 冷却空気風量の確認 (1回/日) 保管セル天井コンクリートの温度の確認 (1回/日) 目視による保管ピット, 建家の健全性確認 (1回/年)	150	420	H21年度頃に保管能力に達する予定 (ただし, 現行の処理計画により固化体を製造すると仮定した場合)。		

放射性廃棄物保管管理状況（固体）

No.	事業所	保管廃棄施設の名称		供用開始	可燃・不燃の別	主な収納物	保管管理状況	点検方法	保管量(本)	保管能力(本)	立入調査実施	備考	
2	サイクル東海	環境保全・研究開発センター	ウラン系廃棄物貯蔵施設		S58.9	可燃	酢ビ類	・200ℓドラム缶及びコンテナ等で保管 ・建家は施錠管理	目視による廃棄物容器の外観点検（1回/日, 1回/月, 1回/年） 目視による建家の健全性確認（1回/日, 1回/年）	236	約26,000		今後10年の発生量及び貯蔵推移の見通しでは、貯蔵施設が満杯になることはない。
			第1廃棄物倉庫		S48.4	不燃	土砂, コンクリート類			約12,971			
			第2廃棄物倉庫		S50.4	可燃	金属類			0			
			第3廃棄物倉庫		S50.12	不燃	フィルタ類			約843			
			第4廃棄物倉庫		S52.11	可燃	木片類			約3,116			
			第5廃棄物倉庫		S52.4	不燃	金属類			401			
			第6廃棄物倉庫		S56.6	不燃	金属類			約2,052			
			ウラン系廃棄物倉庫		H12.10	—	—			約2,635			
			第2ウラン系廃棄物貯蔵施設		H15.7	可燃	木片類			約2,633			
						不燃	金属類			—			
			高レベル放射性物質研究施設		S57.1	不燃	低レベル(A): 塩ビ, ポリ製品, ゴム類, 金属類, その他			277			
			廃棄物倉庫(1), (2)		S57.1	可燃	低レベル(B): 紙, 布類, ポリ製品, 塩ビ類, ゴム類, その他			約130			
						不燃	低レベル(B): 金属類, コンクリート, その他			約106			
			2	プルトニウム燃料センター	プルトニウム廃棄物貯蔵施設		S56.3			可燃・不燃			
第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設		H11.6			可燃・不燃	紙布類, プラスチック類, 塩ビ類, ゴム類, 金属類, フィルタ類, その他	・200ℓドラム缶に保管	目視による施設の健全性の確認（1回/月, 1回/年） 目視による容器の健全性の確認（1回/月, 1回/年）	20,910	30,000	○	当面は保管量が保管能力に達する見込みはない。	
プルトニウム燃料第三開発室ATR棟		H10.2			可燃・不燃	酢ビ, 紙類, ゴム類, 塩ビ類, 金属類, 金属圧縮体, 土砂, コンクリート, スラッジ	・専用コンテナに保管	目視による容器の保管状態の確認（1回/月）	223	5,000		平成17年1月には、ウラン廃棄物の払い出しを終了予定。	
3	原電	東海発電所	ドラム貯蔵庫		S42.4	可燃	低レベル(B)	・ドラム缶保管	外観目視点検（1回/週）	176	73,000	○	固体廃棄物貯蔵庫の保管量は、雑固体減容処理設備等での廃棄物の処理及び日本原燃（株）六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターへの搬出により、保管能力を下回るよう計画している。
			固体廃棄物貯蔵庫（東海第二発電所と共用）		S59.2	不燃		・ドラム缶・鉄箱保管		268			
			黒鉛スリーブ貯蔵庫 [C-1]		S42.4	可燃		・ドラム缶保管		2,042			
			黒鉛スリーブ貯蔵庫 [C-2]		S62.8	不燃		・ドラム缶保管		42,334			
			燃料スラワー貯蔵庫		S42.8	可燃		・ドラム缶・鉄箱保管		2,561			
			固体廃棄物貯蔵庫		S42.4	不燃		・バンカ・タンク保管		3,000			
			サイトバンカ (I) Aバンカ		S42.7	不燃		・バンカ・タンク保管		1,502			
			サイトバンカ (I) Bバンカ		S42.7	不燃		・バンカ・タンク保管		2,500			
			サイトバンカ (D) バンカ		S42.8	不燃		・バンカ・タンク保管		315			
			燃料スプリッタ貯蔵庫 [H]		S45.10	不燃		・バンカ・タンク保管		138			
			燃料スプリッタ貯蔵庫 [H-2]		S53.5	不燃		・バンカ・タンク保管		450			
			燃料スプリッタ貯蔵庫 [H-3]		H3.10	不燃		・バンカ・タンク保管		0			
			蒸発器廃棄物バンカ		S40	不燃		・バンカ・タンク保管		0			
			スラッジ貯蔵タンク		S42	不燃		・バンカ・タンク保管		600			
		貯蔵孔		S59	不燃	・バンカ・タンク保管	0						
		東海発電第二電所	使用済樹脂貯蔵タンク (A)		S51.4	不燃	低レベル(A)	・バンカ・タンク保管	タンク周りのリークの有無確認（1回/2週）	519	611	○	
			使用済粉末樹脂貯蔵タンク (A, B)		S51.4					497	1,360		
			廃液スラッジ貯蔵タンク (A, B)		S51.4					1,392	1,435		
			床ドレンスラッジ貯蔵タンク		S51.4					26	458		
			サイトバンカ		S61.6					110	246		
			使用済樹脂貯蔵タンク (B, C)		S61.6					790	2,314		
			クラッドスラリタンク (A, B)		S61.6					11	2,022		
			減容固化体貯蔵室 (A, B)		S61.6					1,160	4,704		
固体廃棄物貯蔵庫 (レーザー)			H17.1	可燃	・角型容器保管					外観目視点検（1回/月）	610		
			不燃	・ドラム缶保管	外観目視点検（1回/週）	2,302							
				・ドラム缶・角型容器, ペール缶保管	外観目視点検（1回/週）								

放射性廃棄物保管管理状況（固体）

No.	事業所	保管廃棄施設の名称	供用開始	可燃・不燃の別	主な収納物	保管管理状況	点検方法	保管量(本)	保管能力(本)	立入調査実施	備考			
4	NDC	保管庫（H棟）の廃棄物エリア	H2.12	可燃	低レベル（B）；紙ウエス、酢ビシート、タイベックスーツ等	・圧縮減容し200ℓドラム缶に封入、4段積み保管 ・施設管理	目視 腐食状況（1回/月）	346	1,100（核燃）	○	2018～20年頃に保管能力に達する見込み。			
				不燃	低レベル（B）；金属類、プラスチック類、ゴム類等			518						
		第2保管庫（W棟）	H8.11	可燃・不燃	低レベル（A）；紙類、金属類、プラスチック樹脂等	・20ℓ容器に溶接封入し遮蔽付容器に収納	目視（1回/月）	8.4	63（核燃）					
				可燃	低レベル（B）；紙ウエス、酢ビシート、タイベックスーツ等	・圧縮減容し200ℓドラム缶に封入、4段積み保管 ・施設管理	目視 腐食状況（1回/月）	241	2,000（核燃）					
		不燃	低レベル（B）；金属類、プラスチック類、ゴム類等	518										
ウラン実験施設（U棟）の廃棄物保管室	S49.11	可燃	低レベル（B）；紙ウエス、酢ビシート、ゴム手袋、ポリビン等	・圧縮減容し200ℓドラム缶に封入、2段積み保管	目視 腐食状況（1回/月）	0	110（核燃）		順次H棟、W棟へ移送。					
不燃	低レベル（B）；金属類、プラスチック類、ゴム類等													
燃料ホットラボ施設（F棟）のプール	S62.3	可燃・不燃	低レベル（A）；紙類、金属類、プラスチック樹脂等	・20ℓ容器に溶接封入 ・水中に保管	目視（1回/週）	16.4	20（核燃）		10年程度保管後、順次W棟へ移送。					
5	原燃工	廃棄物倉庫	S54.11 S58.3	可燃・不燃	フィルタ、スラッジ類、コンクリート類	・200ℓドラム缶に保管 ・保管庫は施設管理（警報装置付き）	・TVモニターで監視 ・目視点検（1回/日）	2,945	5,000	○	2018年に保管能力に達する予定。			
		廃棄物倉庫Ⅱ	H11.9	可燃・不燃	紙類、金属類			2,196	3,500					
6	核管センター	保障措置分析棟 保管室及びエアロック室	H15.9	可燃	紙、布類、木片、酢ビ類	・20ℓ紙バケツに保管 ・30ℓペール缶に保管 ・200ℓドラム缶に保管 ・1m3容器に保管	・目視点検（1回/日） ・TVモニターで監視	0	440		2015年に保管能力に達する予定。			
				不燃	塩ビ、ゴム類、金属類、ガラス類			141						
		開発試験棟 廃棄物管理棟	S63.12	可燃	紙、布類、木片、酢ビ類	・200ℓドラム缶に保管		16	200	○				
				不燃	塩ビ、ゴム類、金属類、ガラス類			10						
7	原研大洗	廃棄物管理施設	S47.3	不燃	鉄鋼類、非鉄金属、ガラス、フィルタ	・コンクリートブロックに固化して保管 ・施設は施設管理 ・200ℓドラム缶に固化して保管 ・施設は施設管理 ・200ℓドラム缶に固化又は封入して保管 ・施設は施設管理 ・200ℓドラム缶、角型鋼製容器及びコンクリートブロックに固化又は封入して保管 ・施設は施設管理	目視点検（1回/日） 点検項目；外観、荷ぐずれ	9,348	19,900	○	2050年に保管能力に達する予定。			
								9,306				9,310		
								6,000				6,000		
								1,549				6,925		
		α 固体貯蔵施設	S50.11	不燃	鉄鋼類、非鉄金属、ガラス、フィルタ	・ステンレス鋼製密封容器に保管 ・施設は施設管理	目視点検（1回/日） 点検項目；外観（貯蔵エリア表面及び配管）	591	660		2010年頃に保管能力に達する予定。			
8	三菱原燃	廃棄物一時貯蔵所	S47.1	可燃・不燃	紙、布類、ゴム類、金属類、汚染機器	・200ℓドラム缶に保管 ・一部不燃物の養生品あり	目視点検（1回/日）	172	約350	○	2018年頃に保管能力に達する予定。			
		汚染機材保管倉庫	S50.4	不燃	金属類、汚染機器	・大型鋼製容器に保管 ・一部シート密封品あり ・保管倉庫は施設管理		463	約750					
		第1廃棄物倉庫	S51.4	不燃	金属類、焼却灰、スラッジ類、樹脂類、雑固体	・200ℓドラム缶に保管 ・保管倉庫は施設管理		3110	約3,500					
		第2廃棄物倉庫	S59.6	不燃				3483	約3,500					
		第3廃棄物倉庫	S61.7	不燃・可燃	金属類、焼却灰、スラッジ類、樹脂類、雑固体、汚染機器、紙、布類	・200ℓドラム缶又は大型鋼製容器に保管 ・保管倉庫は施設管理		3107	約3,500					
		燃料加工試験棟固体廃棄物保管設備	H9.10	可燃・不燃	紙、布類、不燃物類	・200ℓドラム缶に保管		目視点検（1回/週）	0.75			3		当分の間、保管能力に達しない
9	日本核燃	ホットラボ施設	H49.7	可燃・不燃	紙類、ビニール類、金属類	・紙バケツ、金属缶、ビニール梱包物を一時保管 ・施設管理	目視点検（1回/月）	39	74	○				
								廃棄物セル	H49.7			・金属缶をラックに保管 ・施設管理	75	95
								廃棄物一時保管場所	H49.7			・紙バケツ、金属缶、ビニール梱包物を一時保管 ・施設管理	13	54
								倉庫	H49.7				4	30
								ダクトスペース	H49.7			6	61	
								スラッジ処理スペースの下	H7.10			・金属缶を一時保管	54	106
								固体廃棄物処理スペースの下	H7.10			・紙バケツ、金属缶、ビニール梱包物を一時保管	2	106
								ダクトスペースの下	S49.7			・金属缶、ビニール梱包物を一時保管	0	25
								低レベル廃棄物一時保管庫	H2.9			・金属缶を一時保管 ・施設管理	20	98
								ウラン燃料研究棟	S63.1			廃棄物一時保管エリア	・紙バケツ、金属缶を一時保管 ・施設管理	3
		低レベル廃棄物一時保管庫Ⅱ	H3.9	・金属缶、ビニール梱包物を一時保管 ・施設管理	203	500								

放射性廃棄物保管管理状況（固体）

No.	事業所	保管廃棄施設の名称	供用開始	可燃・不燃の別	主な収納物	保管管理状況	点検方法	保管量(本)	保管能力(本)	立入調査実施	備考	
10	JCO	第1 固体廃棄物保管棟	S55.12	不燃	(住友金属鉱山(株)技術センタ 廃棄物)	・200ℓドラム缶に保管 ・保管棟は施錠管理	目視点検(1回/日)	612	1,500	○	事業活動を実施しないため、廃棄物の発生は極微量であり、当面保管能力に達する事はない。	
		第2 固体廃棄物保管棟	S58.5	不燃	スラッジ、難燃物、不燃物(コンクリート)							
		第3 固体廃棄物保管棟	H1.10	不燃	焼却灰、塩ビ、ゴム等							
		第4 固体廃棄物保管棟	H5.12	不燃	コンクリート、塩ビ、スラッジ等							
		第5 固体廃棄物保管棟	H12.12	可燃・不燃	紙、ポリ、フィルタ、SMM廃棄物等	・200ℓドラム缶及びび鋼製容器に保管 ・保管棟は施錠管理		1,036	2,400			
		第1 固体廃棄物保管室	H12.12	不燃	金属	・200ℓドラム缶に保管 ・保管棟は施錠管理		2,630	5,200			
11	第一化学	第2 実験棟保管廃棄設備(液体廃棄物も保管)	S50.2	不燃	炭酸カルシウム、ガラス類、金属類、土	・50ℓ、200ℓドラム缶に保管 ・保管庫は施錠管理	目視点検(4回/年)	39	125	○		
		第3 実験棟保管廃棄設備(液体廃棄物も保管)	S60.4	不燃	ガラス類、金属類、プラスチック類、動物用ケージ	・50ℓ、200ℓドラム缶に保管 ・動物用ケージはビニールで包み保管	目視点検(4回/年) 作業時に目視点検(1回/週)	50	175			
		第4 実験棟保管廃棄設備	H2.9	不燃	フィルタ、灰	・36×64×64cmの段ボール箱に保管 ・灰は200ℓドラム缶に保管 ・保管庫は施錠管理	目視点検(2回/年) 作業時に目視点検(1回/週)	20	250			
12	原研那珂	廃棄物保管棟保管室	H3	可燃	布手袋、ゴム手袋、酢酸ビニール、紙類、ベンコット	・200ℓドラム缶保管 ・難燃性パレット上に保管 ・保管室は施錠管理 ・フィルタのみ酢酸ビニールで梱包、段ボール箱に保管 ・フィルタ防災シート掛	目視点検(1回/週)	100	1,340	○	現状からすると、保管能力に達するのは2015年以降と推定される。	
				不燃	防災シート、塩ビ、第一壁、フィルタ類			391				
13	三菱マテリアル	廃棄物倉庫(1)	S61.1	不燃	金属類、スラッジ	・ドラム缶又は大型容器に密閉 ・倉庫出入口は施錠管理	目視点検(1回/操業日)	878	1,024	○	過去5年間の保管量の推移から予測すると、当面は保管能力に達しない見込み。	
		廃棄物倉庫(2)	H1.8	可燃	金属類、ポリエチレン			8	1,500	○		
		廃棄物倉庫(3)	H7.4	可燃	金属類、紙・布類、ポリエチレン			1482	2,000			
14	東北大	ホットラボ棟	廃棄物保管室	S46.12	可燃	紙・布	・200ℓドラム缶又は50ℓペール缶に保管 ・保管室は施錠管理	線量等巡回点検(1回/週) 目視点検(1回/月)	4.7	68	○	原研大洗に保管委託
				S47.8	不燃	ビニール・金属			9.9			
			No.1セル	S46.12	可燃	紙・布	・20ℓ鉄製缶に保管 ・セル扉はインターロック	目視点検(1回/月)	0	0.8		
				S47.8	不燃	固体物・金属			0.2			
			No.3セル	S46.12	可燃	紙・布	・50ℓペール缶に一時保管	目視点検(1回/月)	0	0.8		
				S47.8	不燃	固体物・金属			0			
		No.5セル	S46.12	可燃	紙・布	・50ℓペール缶に一時保管	目視点検(1回/月)	0	0.4			
			S47.8	不燃	固体物・金属			0				
		No.1~3セルのサービスエリア	S46.12	可燃	紙・布	・50ℓペール缶に一時保管	目視点検(1回/月)	0	1			
			S47.8	不燃	ビニール・金属・固化物			0				
		No.4~6セルのサービスエリア	S46.12	可燃	紙・布	・50ℓペール缶に一時保管	目視点検(1回/月)	0	4			
			S47.8	不燃	ビニール・金属・固化物			0				
		アクテノイド元素実験棟	廃棄物保管室	H3.6	可燃	紙・布	・200ℓドラム缶又は50ℓペール缶に保管 ・保管室は施錠管理	線量等巡回点検(1回/週) 目視点検(1回/月)	42	220		
				H3.10	不燃	ビニール・金属・固化物			26.5			
No.1ケープ	H3.6		可燃	紙・布	・20ℓ鉄製缶に保管 ・ケープ扉はインターロック	目視点検(1回/月)	0	1				
	H3.10		不燃	固体物・金属			0					
No.2ケープ	H3.6		可燃	紙・布	・50ℓペール缶に一時保管	目視点検(1回/月)	0	1				
	H3.10		不燃	固体物・金属			0					
アイソレーションルーム	H3.6	可燃	紙・布	・50ℓペール缶に一時保管	目視点検(1回/月)	0	4					
	H3.10	不燃	ビニール・金属・固化物			0						
サービスルーム	H3.6	可燃	紙・布	・50ℓペール缶に一時保管	目視点検(1回/月)	0	4					
	H3.10	不燃	ビニール・金属・固化物			0						
研究棟	廃棄物貯蔵室	S46.12	可燃	紙・布	・200ℓドラム缶又は50ℓペール缶に保管 ・貯蔵室は施錠管理	線量等巡回点検(1回/週) 目視点検(1回/月)	0	32				
		S47.8	不燃	ビニール・金属・固化物			0					
15	日揮	廃棄物保管室	S59.9	可燃	紙、布類	・50ℓドラム缶に保管	目視点検(1回/日)	3.25	60	○		
				不燃	ゴム、金属、ガラス類			6				50
16	放医研	廃棄物保管庫	S62.12	可燃・不燃	紙類、ゴム類、金属類、非金属類	・200ℓドラム缶に保管 ・保管庫は施錠管理	目視点検(1回/週)	20	40	○	随時原研東海へ運搬しているため、保管能力を超えない。	

放射性廃棄物保管管理状況（液体）

事業所	保管廃棄施設の名称		供用開始	液体の性状	主要核種	保管管理状況（処分方法）	点検方法	保管量 (m3)	保管能力 (m3)	立入調査	備考	
1 サイクル東海	再処理センター	低放射性濃縮廃液貯蔵施設	S21V10 S21V11 S21V20	低放射性能濃縮液 (放射性)	F P	・セル内の貯槽にて保管 (250m3×3基) (長期保管)	液位計, セル漏洩検知装置の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検)	43	250		今後5年以内に保管能力に達する予定はない。	
							セルのドリフトレ送液装置の作動試験 (年次点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検) セル漏洩検知装置の健全性確認 (年次点検)	14	250			
								41	250			
		濃縮液貯槽	S21V30	濃縮液 (放射性)	F P	・ライニング型貯槽にて保管 (750m3×1基) (長期保管)	液位計の監視 (日常点検) セルの漏洩検知用ドレンボットの液位の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検)	223	750			
		廃液貯槽	S21V40	リン酸廃液 (放射性)	F P	・セル内の貯槽にて保管 (20m3×1基) (長期保管)	液位計, セル漏洩検知装置の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検)	7	20			
	廃棄物処理場	低放射性濃縮廃液貯槽	331V10	S49.10	低放射性能濃縮液 (放射性)	F P	・セル内の貯槽にて保管 (250m3×3基) (長期保管)	セルのドリフトレ送液装置の作動試験 (年次点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検) セル漏洩検知装置の健全性確認 (年次点検)	188	250		
			331V11						175	250		
			331V12						195	250		
		廃希釈剤貯槽	318V10	S49.10	廃希釈剤 (放射性)	F P	・セル内の貯槽にて保管 (20m3×1基) (長期保管)		14	20		
	318V11		13						20			
	第三低放射性廃液蒸発処理施設 濃縮液貯槽	326V50A 326V50B 326V51A 326V51B	S54.1	濃縮液 (放射性)	F P	・ライニング型貯槽にて保管 (250m3×4基) (長期保管)	液位計の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットの液位警報装置の監視 (日常点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検)	110	250			
								194	250			
								206	250			
								201	250			
	スラッジ貯蔵場	スラッジ貯槽	332V10	S49.10	化学スラッジ (放射性)	F P	・セル内の貯槽にて保管 (1,000m3×2基) (長期保管)	液位計, セル漏洩検知装置の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検) セル漏洩検知装置の健全性確認 (年次点検)	404 (上澄み液を含めると883)	1,000		
			332V11						378 (上澄み液を含めると715)	1,000		
		廃溶媒貯槽	333V10	S49.10	廃溶媒 (放射性)	F P	・セル内の貯槽にて保管 (20m3×2基) (長期保管)	液位計, セル漏洩検知装置の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検) セルのドリフトレ送液装置の作動試験 (年次点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検) セル漏洩検知装置の健全性確認 (年次点検)	17	20		
			333V11						17	20		
	第二スラッジ貯蔵場	スラッジ貯槽	332V20	S56.8	化学スラッジ (放射性)	F P	・ライニング型貯槽にて保管 (1,000m3×1基) (長期保管)	液位計の監視 (日常点検)	325 (上澄み液を含めると954)	1,000		
		濃縮液貯槽	332V21	H11.3	濃縮液 (放射性)	F P	・ライニング型貯槽にて保管 (1,000m3×1基) (長期保管)	地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検)	593	1,000		
		廃砂・廃樹脂貯槽	332V22	S56.8	廃砂・廃樹脂 (放射性)	F P	・ライニング型貯槽にて保管 (200m3×1基) (長期保管)	セルの漏洩検知管の監視 (日常点検)	0 (地下浸透水を含めると57)	200		
	廃溶媒貯蔵場 廃溶媒貯槽	333V20 333V21 333V22 333V23	S56.7	廃溶媒 (放射性)	F P	・セル内の貯槽にて保管 (20m3×4基) (長期保管)	液位計の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検) セルのドリフトレ送液装置の作動試験 (年次点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検) セル漏洩検知装置の健全性確認 (年次点検)	15	20			
								6	20			
								10	20			
								9	20			
放出廃液油分除去施設	廃炭貯槽	350V31	S54.10	廃活性炭 (放射性) スラッジ (放射性)	F P	・ライニング型貯槽にて保管 (250m3×1基) (長期保管) ・ライニング型貯槽にて保管 (110m3×1基) (長期保管)	液位計の監視 (日常点検) 貯槽の漏洩検知管の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検)	120	250			
	スラッジ貯槽	350V32					3	110				
分離精製工場 高放射性廃液貯槽 (272V12, V14, V16, V18)	272V12 272V14 272V16 272V18 (予備)	S53.2	硝酸溶液 (HALW)	F P	・90m3貯槽×4基 (うち, 1基は予備) ・セル内に設置 (長期保管)	液位計, セル漏洩検知装置の監視 (日常点検) 地下浸透水ピットのサンプリング (月例点検) セルのドリフトレ送液装置の作動試験 (年次点検) セル外壁の健全性確認 (年次点検) 液位計, セル漏洩検知装置の健全性確認 (年次点検)	- (未濃縮液のため) 保管量に含ま	90				
							28	90				
							55	90				
							-	-				
高放射性廃液貯蔵場 高放射性廃液貯槽 (272V31, V32, V33, V34, V35, V36)	272V31 272V32 272V33 272V34 272V35 272V36 (予備)	S61.8	硝酸溶液 (HALW)	F P	・120m3貯槽×6基 (うち, 1基は予備) ・セル内に設置 (長期保管)		62	120				
							88	120				
							62	120				
							54	120				
							69	120				
							-	-				

事業所	保管廃棄施設の名称		供用開始	液体の性状	主要核種	保管管理状況（処分方法）	点検方法	保管量(m3)	保管能力(m3)	立入調査	備考	
1 サイクル東海	環境保全・研究開発センター	高レベル放射性物質研究施設	高レベル廃液貯槽	S58.9	酸性水溶液	F P	<ul style="list-style-type: none"> 高レベル廃液貯槽で保管（4.5m3×2基・6.0m3×2基の計4基） セル構造の部屋で保管 中レベル廃液貯槽で保管（7.5m3×4基） セル構造の部屋で保管（長期保管） 廃溶媒貯槽で保管（7.5m3×2基） セル構造の部屋で保管（長期保管） 	目視による液位計の確認（1回/日） 貯槽の計装設備からの健全性の確認（1回/日）	0.7	36	今後5年以内に保管能力に達する予定はない。	
			予備貯槽	未使用	酸性水溶液				0	15		
			中レベル廃液貯槽	S58.2	酸性水溶液				1.6	30		
			廃溶媒貯槽	S58.2	有機溶剤				1.1	15		
		廃油保管庫	S51.12	廃油	U	<ul style="list-style-type: none"> 200ℓドラム缶に保管 建屋は施設管理（長期保管） 	目視による廃棄物容器の外観点検（1回/日） 目視による建屋の健全性確認（1回/日）	22.3	25.6	近年発生無し及び減容処理技術開発試験計画中により算定不能		
		ウラン系廃棄物貯蔵施設	S51.12	廃油	U	<ul style="list-style-type: none"> ポリ容器に収納しコンテナに保管 		0.9	25.6			
2 原燃工	廃棄物倉庫廃油貯蔵エリア		S58.3	廃油，有機溶媒	U	<ul style="list-style-type: none"> 100ℓ，200ℓケミカルドラム缶に保管 	目視点検（1回/日）	7.75	9.6	○		
3 原研大洗	JMTR原子炉施設	第3排水貯槽Ⅰ	S42	廃樹脂及び液体（JMTR原子炉施設で適用した廃樹脂）	C0-60	<ul style="list-style-type: none"> 排水貯槽に保管 	液面計でレベルを監視（常時監視）	169.9	176	○		
		第3排水貯槽Ⅱ	H2					106.6	140			
4 サイクル大洗	照射燃料試験施設キャスク保管室		H12.5	水銀（少量の油を含む）	Cs-137 Cs-134 Eu-154 Am-241等	<ul style="list-style-type: none"> ステンレス製の密封容器に封入し，ステンレス製の保管容器内に保管（保管廃棄） 	容器蓋固定ボルトの締め付け状態及び，容器表面（保管容器，密封容器）の外観検査，汚染検査，線量率測定（1回/年）	0.0257	約0.4			
5 三菱原燃	廃棄物一時貯蔵所液体廃棄物保管設備		H2.4	有機溶媒，有機溶剤，酸性水溶液，廃油	U	<ul style="list-style-type: none"> 20ℓポリ容器に保管（長期保管） ただし，可燃性廃油は金属缶に一時保管（焼却処分） 	目視点検（1回/日）	1.84	3	○	当分の間保管能力に達しない	
6 第一化学	第2実験棟保管廃棄設備（固体廃棄物も保管）		S50.2	水溶液，酸性水溶液，アルカリ水溶液，有機溶媒	H-3 C-14	<ul style="list-style-type: none"> ガラス瓶容器 ガラスアンプル 保管庫は施設管理 長期保管 	目視点検（4回/年）	0.4	(125本)	○		
	第3実験棟保管廃棄設備（固体廃棄物も保管）		S60.4	水溶液，酸性水溶液，アルカリ水溶液，有機溶媒	H-3 C-14 I-125	<ul style="list-style-type: none"> ガラスアンプル 20ℓポリ容器 保管庫は施設管理 長期保管又は減衰後放流処理 	目視点検（4回/年） 作業時に目視点検（1回/週）	0.4	(175本)			
7 原研那珂	廃棄物保管棟油脂類保管室		H3	廃油	H-3	<ul style="list-style-type: none"> 200ℓドラム缶に保管 保管室は施設管理 難燃性パレットの上に保管（長期保管） 	目視点検（1回/週）	3.6	6.5	○	現状からすると保管能力に達するのは2015年以降と推定	
8 三菱マテリアル	廃棄物保管室		S62.7	無機液体	Sr-90	<ul style="list-style-type: none"> R1協会から借用の液体廃棄物専用容器〔25ℓ〕に保管 保管室は施設管理（R1協会に委託処理） 	目視点検（1回/週）	0.01	0.6		適宜払い出すことにより，保管量が保管能力を上回ることはない。	
				有機液体	H-3	<ul style="list-style-type: none"> 20ℓポリエチレン瓶に保管 保管室は施設管理（長期保管） 		0.1				
9 東北大	アクチノイド元素実験棟	廃液タンク室	(THD-1タンク)	H3.6	手洗い水	Am-241 U-238	<ul style="list-style-type: none"> 3.5m3で流入を停止し，バッチ測定後，廃液濃縮装置にて，濃縮水は固形化，蒸留水はスクラバに再利用 	巡回点検（1回/日） 目視点検（1回/月）	2.5	4		廃液濃縮処理装置にて処理後，再利用・固形化
			(THD-2タンク)						0	4		
			(THD-3タンク)						0	4		
			(THD-4タンク)						0	4		

施設の保安全管理状況

	事業所	調査を実施した施設	確認事項	調査結果
1	原研東海	NSRR	原子炉運転業務	良
2	サイクル東海	プルトニウム転換技術開発施設	転換処理運転業務	良
		ガラス固化技術開発施設	ガラス固化工程運転業務	良
		高レベル放射性物質研究施設	工事の実施状況	良
3	原電	東海発電所原子炉建屋	燃料取替機解体工事	良
4	NDC	燃料ホットラボ施設（F棟）	ステンレス鋼の照射誘起応力腐食割れ試験片加工作業	良
5	東京大	弥生	原子炉運転業務	良
6	原燃工	加工工場ペレット加工室	ペレット加工運転業務	良
7	核管センター	開発試験棟	六ヶ所向け溶液タンク移送実証試験	良
8	原研大洗	ホットラボ施設	照射済みキャプセル移送作業	良
9	サイクル大洗	常陽	回転プラグの分解点検整備作業	良
10	三菱原燃	工場棟	燃料集合体組立作業	良
11	日本核燃	ホットラボ施設	燃料非破壊検査	良
12	JCO	第3管理棟（旧転換試験棟）	管理区域の管理業務	良
13	住友鉱山	放射能測定室	空气中放射性物質濃度の測定	良
14	第一化学	第4実験棟動物試験室	薬物動態試験	良
15	日本照射	コバルト照射装置	3ヶ月定期点検	良
16	原研那珂	JT-60実験棟	JT-60改修工事	良
17	三菱マテ	開発試験第2棟	再処理関係の研究試験	良
18	東北大	アクチノイド元素実験棟	放射線監視業務	良
19	日揮	R1棟	放射線管理業務	良
20	放医研	第2研究棟	分析業務	良